



キビタン©福島県

あぐりサポートニュース

第13号 令和5年2月

～12市町村 復興再生への取組《南相馬市》～

(公財)福島県農業振興公社

南相馬市における営農再開状況及び農地中間管理事業の取組

南相馬市において東日本大震災の影響により、7,289haの農地にて営農休止が余儀なくされました。しかし、農業者及び関係機関等の努力により、令和3年度末時点の営農再開面積が4,607ha(63.2%)《南相馬市調べ》と、着実に進んでいる状況です。(令和7年度営農再開目標面積5,182haに対し88.9%)

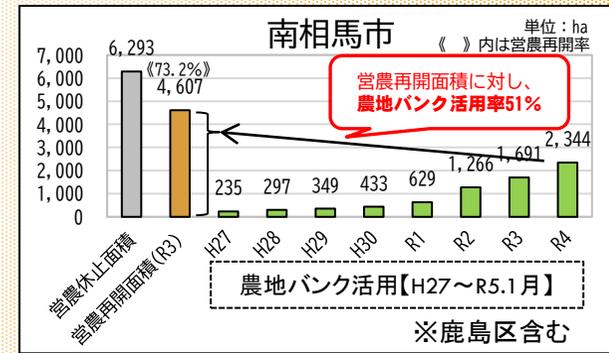
市内では、多くの地区で福島再生加速化交付金を活用したほ場整備事業が実施されており、ほ場整備事業の進捗に合わせて市と連携した農地バンク事業の活用を推進し、担い手への農地集積・集約化を図っております。令和4年度の市内のほ場整備事業の実施状況は、左記の表のとおりです。ほ場整備事業実施地区を中心に農地バンク事業の活用が

進んでおり、令和5年1月末までに2,344haとなっております。

その中で市町村コーディネーターとして、各地区の総会等へ出向き機構集積協力金についての説明、契約事務(調印会)、未相続農地に対する相談対応等の活動を行っております。今後も引き続き関係機関と連携し、営農再開に向けた農地バンク事業を推進していきます。

南相馬市内のほ場整備地区	地区数
鹿島区	11 (5)
原町区	11 (10)
小高区	8 (2)
合計	30 (17)

※()内は、農地バンク事業活用地区数



農地バンク事業 調印会



農地バンク事業 相談対応



《市町村コーディネーター 自己紹介》

南相馬市担当の安川 一弘 (やすかわ かずひろ) です。令和3年4月より市町村コーディネーターとして、南相馬市農政課内に駐在しております。関係機関と連携し、地域の方々との話し合いを進めながら、農地バンク事業を活用した農地集積に取り組みます。

